

平成27年度  
第3回

今金町地域交通協議会

(今金町地域公共交通確保維持改善協議会)

議案

日時：平成27年12月4日(金)

13時30分～

場所：今金町役場 2階会議室

## 次 第

1. 挨拶 今金町地域公共交通確保維持改善協議会長 外崎 秀人

### 2. 報 告

報告第1号 ユニバーサルデザインタクシーの状況について 資料①

報告第2号 金原・豊田地区、日進地区のデマンドバス本格運行の状況について  
資料②

報告第3号 高齢者交通料金助成事業の実施状況について 資料③

### 3. 議 事

議案第1号 田代・稲穂地区のデマンドバス実証調査9月実施結果及び2月実施  
について 資料④

議案第2号 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の実施について  
(八束・白石地区のデマンドバス、UDタクシー導入) 資料⑤

議案第3号 今後のスケジュールについて 資料⑥

### 4. そ の 他

(1) 「バス冒険キング」について (函館バス株式会社)

(2) その他

今金町地域公共交通確保維持改善協議会 委員名簿 (H27.6.4現在)

任期 平成27年6月4日～平成29年3月31日

NO	役職	委員名	所属
1	会長	外 崎 秀 人	今金町長
2	委員	中 山 俊 彰	国土交通省北海道運輸局函館運輸支局
3	委員	水 島 敦	北海道檜山振興局
4	監事	藤 川 治 喜	自治会町内会連合会
5	委員	岸 本 義 仁	今金町老人クラブ連合会
6	監事	加 藤 秀 明	今金町民生委員児童委員協議会
7	委員	上 野 義 則	金原連合自治会
8	委員	鈴 木 一 雄	豊田連合自治会
9	委員	水 野 美 江	金原婦人会
10	副会長	辻 紀 英	今金町社会福祉協議会
11	委員	西 川 達 也	函館バス株式会社
12	委員	松 本 年 弘	有限会社東ハイヤー

事務局 (7月1日以降予定)

寺 崎 康 史 山 田 哲 也 佐 藤 創 廣 嶋 絵 理 子	町まちづくり推進課長 同課長補佐 同係長 同係長
--	-----------------------------------

庁舎内ワーキング委員会

保健福祉課・教育委員会事務局・国保病院・総合戦略室



## UDタクシーの導入について

平成27年9月18日

東ハイヤー今金営業所に2台目のUDタクシーが納車されました。



◆今金町地域交通協議会で策定した「生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）」に基づき、有限会社東ハイヤーが導入し、60万円の国庫補助を受けることができました。

また、当協議会では、今金町から今金町地域公共交通確保維持改善協議会補助事業により補助金の交付を受け、UDタクシー導入の支援として国庫補助額の半額となる30万円を有限会社東ハイヤーに支出しました。

◆UDタクシーの導入は平成26年度から3カ年計画で行われる予定で実施しており、来年度は3台目の導入となります。当初の予定どおり今金町地域交通協議会では引き続き同様の導入を支援することとしたく、計画を策定するとともに、経費面では今金町に対し協議会への補助申請を行います。



今金町デマンドバス(金原・豊田地区)利用実績 平成27年10月

金原・豊田地区H26実証調査結果  
 9月 利用延べ人数 24人  
 2月 利用延べ人数 78人

日時	曜日	行き1便 スクール 7:05	行き2便 デマンドバス 8:10	行き3便 デマンドバス 9:05	帰り1便 デマンド 13:00	帰り2便 スクール 14:40 (土・学休日 デマンド)	帰り3便 スクール 15:50 (土・学休日 デマンド)	帰り4便 デマンド 16:50	帰り5便 デマンド 19:15	合計	料金徴 収人数	料金
10月1日	木		2		2					4	4	800
10月2日	金									0	0	0
10月3日	土									0	0	0
10月4日	日											
10月5日	月									0	0	0
10月6日	火		1		1					2	2	400
10月7日	水				1					1	1	200
10月8日	木		1		1					2	2	400
10月9日	金		1		1					2	2	400
10月10日	土									0	0	0
10月11日	日											
10月12日	月											
10月13日	火									0	0	0
10月14日	水									0	0	0
10月15日	木		1		1					2	2	400
10月16日	金		1		1					2	2	400
10月17日	土									0	0	0
10月18日	日											
10月19日	月									0	0	0
10月20日	火		1		1					2	2	400
10月21日	水			2						2	2	400
10月22日	木		1	1	2					4	4	800
10月23日	金		2		2			1		5	5	1,000
10月24日	土									0	0	0
10月25日	日											
10月26日	月		1		1					2	2	400
10月27日	火		1		1					2	2	400
10月28日	水		1	1	2					4	4	800
10月29日	木			1	1					2	2	400
10月30日	金									0	0	0
10月31日	土									0	0	0
合計		0	14	5	18	0	0	1	0	38	38	7,600

町内下車場所	(停車回数)														
	国保病院	野の花	1	ひだまり	0	アコーブ	3	あったか	0	バス停	0	テオー	0	その他	7
町内乗車場所	国保病院	3	野の花	0	ひだまり	0	アコーブ	10	あったか	0	東	2	テオー	0	その他
下車場所「その他」の内訳～岩間医院2、富田医院2、役場1、ジュン2	国保病院	6	野の花	1	ひだまり	0	アコーブ	3	あったか	0	バス停	0	テオー	0	その他
乗車場所「その他」の内訳～	国保病院	3	野の花	0	ひだまり	0	アコーブ	10	あったか	0	東	2	テオー	0	その他



今金町デマンドバス(日進地区)利用実績 平成27年10月

日時	曜日	行き1便 スクール 7:15	行き2便 デマンドバス 8:40	行き3便 デマンドバス 9:35	乗り1便 デマンド 13:00	乗り2便 スクール (土・学休日 デマンド) 14:50	乗り3便 スクール (土・学休日 デマンド) 15:50	乗り4便 デマンド 16:50	乗り5便 デマンド 19:15	合計	料金徴 収人数	料金
10月1日	木									0	0	0
10月2日	金									0	0	0
10月3日	土									0	0	0
10月4日	日											
10月5日	月		1							2	2	400
10月6日	火	1								1	0	0
10月7日	水	1								1	0	0
10月8日	木	1								1	0	0
10月9日	金	1								1	0	0
10月10日	土									0	0	0
10月11日	日											
10月12日	月											
10月13日	火	1								1	0	0
10月14日	水									0	0	0
10月15日	木	1								1	0	0
10月16日	金	1								1	0	0
10月17日	土									0	0	0
10月18日	日											
10月19日	月	1	1							3	2	400
10月20日	火	1								1	0	0
10月21日	水	1								1	0	0
10月22日	木	1								1	0	0
10月23日	金	1								1	0	0
10月24日	土									0	0	0
10月25日	日											
10月26日	月	1								1	0	0
10月27日	火	1								1	0	0
10月28日	水	1			1					2	1	200
10月29日	木	1								1	0	0
10月30日	金	1								1	0	0
10月31日	土		1							1	0	0
合計		17	3	0	4	0	0	0	0	24	7	1,400

		(停車回数)													
町内下車場所	国保病院	野の花	0	ひだまり	0	Aコープ	1	あったか	0	バス停	17	テオー	0	その他	2
町内乗車場所	国保病院	野の花	0	ひだまり	0	Aコープ	3	あったか	0	東	1	テオー	0	その他	0
下車場所「その他」の内訳～岩間医院1、すぎうち美容室1															
乗車場所「その他」の内訳～															

日進地区H26実証調査結果  
9月 利用延べ人数 22人  
2月 利用延べ人数 21人

↓  
※実証調査時の利用人数  
実質5名

・うち1名→施設入所(9月延べ7回、2月延べ4回)  
・うち2名→実証調査時は試しに利用  
冬場は利用予定  
(9月延べ6回、2月延べ8回)



今金町高齢者交通料金助成事業 実績一覧<負担金>

資料③

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
	助成券 申請者数	助成券 引換枚数 (=売上枚 数)	売上金 (協議会)	発売手数料 (協議会)	売上金 清算日	町負担金 (@1,000 × B)	町手数料 (@34.13 × B)	町支払額 (F+G-D)	町負担金等 支払日	協議会 預かり分 カード 残枚数	備考 (協議会収入の発売手数料の うち、町負担金への充当分 =D-G)
平成26年10月	140	467	467,000	32,690	H26.11.6	467,000	15,938	450,248	H26.11.28	533	16,752
平成26年11月	23	117	117,000	8,190	H26.12.4	117,000	3,993	112,803	H26.12.25	416	4,197
平成26年12月	18	83	83,000	5,810	H27.1.8	83,000	2,832	80,022	H27.1.26	333	2,978
平成27年1月	7	49	49,000	3,430	H27.2.6	49,000	1,672	47,242	H27.2.25	284	1,758
平成27年2月	7	50	50,000	3,500	H27.3.5	50,000	1,706	48,206	H27.3.25	234	1,794
平成27年3月	11	72	72,000	5,040	H27.4.2	72,000	2,457	69,417	H27.4.27	162	2,583
年度合計	206	838	838,000	58,660		838,000	28,598	807,938			30,062
平成27年4月	50	189	189,000	13,230	H27.5.1	189,000	6,450	182,220	H27.5.29	973	6,780
平成27年5月	25	98	98,000	6,860	H27.6.3	98,000	3,344	94,484	H27.6.25	875	3,516
平成27年6月	18	80	80,000	5,600	H27.7.2	80,000	2,730	77,130	H27.7.27	795	2,870
平成27年7月	14	59	59,000	4,130	H27.8.6	59,000	2,013	56,883	H27.8.28	736	2,117
平成27年8月	5	25	25,000	1,750	H27.9.3	25,000	853	24,103	H27.9.25	711	897
平成27年9月	9	49	49,000	3,430	H27.10.9	49,000	1,672	47,242	H27.10.26	662	1,758
平成27年10月	12	47	47,000	3,290	H27.11.4	47,000	1,604	45,314	H27.11.25	615	1,686
年度合計	133	547	547,000	38,290		547,000	18,666	527,376			19,624

※65歳以上の町民～平成27年4月1日現在:2,113人





## 契 約 書

函館バス株式会社（以下甲という）と今金町地域公共交通確保維持改善協議会（以下乙という）との乗車券等の委託販売について次のとおり契約する。

- 第1条 乙は甲の定める乗車券等を乙の営業する場所にて発売する。
- 第2条 乙は甲の定める委託乗車券受領書により乗車券等の委託を受けなければならない。
- 第3条 乗車券等の保管については、一切を乙の責任とし本契約解除のときには、速やかに甲に返納しなければならない。
- 第4条 乙は毎月末日までに精算しなければならない。
- 第5条 甲は乙に販売を委託している乗車券等の在庫数量を確認することができる。
- 第6条 甲は乙の発売した乗車券等の売上金を毎月1回集金する。
- 第7条 甲は乙に対して売上金額の7%を手数料として支払う。  
乙の申し出に基づき、協定書により甲が今金町に毎月請求する負担金及び事務手数料の合計金額から、その手数料分を差し引いて清算することとする。
- 第8条 乙はこの業務を履行するにあたり、甲の諸規定を遵守しなければならない。
- 第9条 本契約の期間は平成27年4月 1日から平成28年 3月31日までとする。

本契約の証として本書2通を作成し、双方記名押印のうえ各1通を保有する。

平成27年4月 1日

函館市高盛町10番1号  
甲 函館バス株式会社  
代表取締役 森 健二



瀬棚郡今金町字今金48-1  
乙 今金町地域公共交通確保維持改善協議会  
会長 外崎 秀人



## \*\*\*今金町高齢者交通料金助成事業のご案内\*\*\*

今金町では、65歳以上の町民の皆さまを対象とした交通料金助成事業を実施しております。

助成券の交付及び専用バスカードの購入を希望される方は、お手数をおかけしますが、役場まちづくり推進課まで申請の手続きにお越しくくださいますようお願いいたします。

### 【助成券とは】

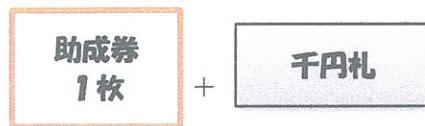
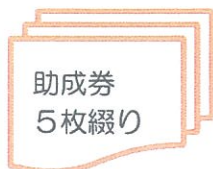
国道230号線で函館バスが運行する幹線バス路線「瀬棚線」(長万部～せたな間)で利用できる「今金町高齢者交通料金助成専用バスカード」を半額購入するための「今金町高齢者交通料金助成券」を1年度につき1冊(5枚綴り)を交付します。

助成券1枚と現金千円で2,000円(額面2,200円)のバスカードが1枚購入できます。(バスカードは2,000円カードの1種類です。)

助成券を利用して購入できる専用バスカードは、5枚までです。

専用バスカードは、今金町役場まちづくり推進課で購入できます。

①役場で助成券を申請 ⇒ ②交付を受けた助成券1枚と現金千円で ⇒③バスカード1枚購入



### 【助成券の交付を受けるには】

■印鑑、本人の年齢が確認できる保険証・介護保険証等をお持ちの上、役場まちづくり推進課の窓口で申請してください。

※代理申請もできます。代理で来られる方ご自身の身分証明書と、対象となる方の印鑑と年齢確認ができるものをお持ちの上お越しくください。

※新たに平成27年度中に65歳になられる方は、誕生月の1日から申請できます。

### 【その他注意事項】

- 助成券で乗車料金は支払できません。
- 助成券1枚と、現金千円で、バスカードが1枚購入できます。(5枚まで購入できます。)
- 助成券とバスカードは、本人に限り有効です。譲渡・貸与・転売することはできません。
- 助成券とバスカードを紛失しても再発行はいたしません。
- 手続きの締切と助成券の有効期限は、平成28年3月までです。ただし、購入したバスカードには有効期限はありません。
- 昨年度交付の助成券は使用できません。

### 【お問い合わせ先】

役場まちづくり推進課企画政策グループ TEL 82-0111



## 今金町地域公共交通実証調査(田代・稲穂地区)利用実績

資料④

日時	曜日	行き1便 デマンドバス 8:10	行き2便 デマンドバス 9:20	帰り1便 デマンド 13:00	帰り2便 (土曜日のみ) 14:20	帰り3便 (土曜日のみ) 15:30	帰り4便 デマンド 16:50	帰り5便 デマンド 19:15	合計	料金	メーター料金	委託料
9月1日	火				/	/			0	0		0
9月2日	水				/	/			0	0		0
9月3日	木	1	2	3	/	/			6	1,200	3,570	2,370
9月4日	金	1	1	1	/	/			3	600	3,170	2,570
9月5日	土		1	1					2	400	2,220	1,820
9月6日	日											
9月7日	月			1	/	/			1	200	1,590	1,390
9月8日	火				/	/			0	0		0
9月9日	水	1	2	2	/	/			5	1,000	5,490	4,490
9月10日	木				/	/			0	0		0
9月11日	金				/	/			0	0		0
9月12日	土		4	4					8	1,600	5,580	3,980
9月13日	日											
9月14日	月	1	4	3	/	/			8	1,600	7,970	6,370
9月15日	火	1			/	/			1	200	1,750	1,550
9月16日	水		2		/	/			2	400	2,310	1,910
9月17日	木	1	2	2	/	/			5	1,000	5,090	4,090
9月18日	金		2	2	/	/			4	800	4,780	3,980
9月19日	土								0	0		0
9月20日	日											
9月21日	月											
9月22日	火											
9月23日	水											
9月24日	木		1		/	/			1	200	1,670	1,470
9月25日	金		2	2	/	/			4	800	4,860	4,060
9月26日	土		1	1					2	400	2,460	2,060
9月27日	日											
9月28日	月	2		1	/	/			3	600	2,220	1,620
9月29日	火		1	1	/	/			2	400	1,420	1,020
9月30日	水		1	1	/	/			2	400	2,460	2,060
合計		8	26	25	0	0	0	0	59	11,800	58,610	46,810

町内下車場所 延べ人数	国保病院	14	野の花	0	ひだまり	0	Aコープ	2	あったか	2	バス停	0
	その他	16	(その他内訳…富田医院2人、ポテト歯科8人、道銀2人、郵便局1人、エクセル1人、やまとや1人、東町1人)									

町内乗車場所 延べ人数	国保病院	1	野の花	0	ひだまり	0	Aコープ	18	あったか	3	バス停	0
	その他	3	(その他内訳…ポテト歯科2人、栄子美容室1人)									



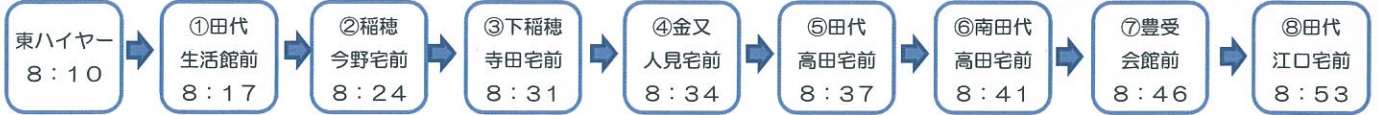
# 今金行便

## 「予約バス」田代・稲穂地区 実証調査運行を実施します。

実施期間 平成 28 年 2 月 1 日～2 月 29 日

今金行 1 便 予約バス 有料 200 円 月～土（ただし祝日は運休）  
（前の日の夕方 5 時までか、当日の朝 7 時 30 分までに電話で予約が必要です）

＜予約先＞  
東ハイヤー 82-0166

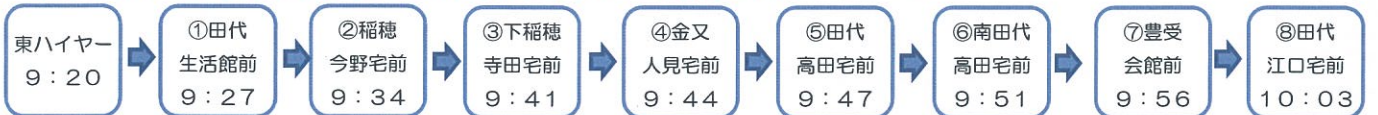


※①～⑧までの停車場所は、目安で設定しております。  
ご自宅の近くまで行きますので、  
予約の際は必ず住所氏名をお伝えください。

町内最寄り施設  
国保病院・Aコープ・役場・としべつ など

バス  
ターミナル  
9:00

今金行 2 便 予約バス 有料 200 円 月～土（ただし祝日は運休）  
（前の日の夕方 5 時までか、当日の朝 8 時 30 分までに電話で予約が必要です）



※①～⑧までの停車場所は、目安で設定しております。  
ご自宅の近くまで行きますので、  
予約の際は必ず住所氏名をお伝えください。

町内最寄り施設  
国保病院・Aコープ・役場・としべつ など

バス  
ターミナル  
10:10

＜予約バスに関する問い合わせ先：役場まちづくり推進課 電話 82-0111＞

# 田代・稲穂帰便

## 「予約バス」田代・稲穂地区 実証調査運行 平成 28 年 2 月 1 日～2 月 29 日

☆必ず出発 30 分前までに予約が必要です☆

	今金バスターミナル	運行日	料金
帰り 1 便	13:00	月～土（祝日は運休）	有料 200 円
帰り 2 便	14:20	土曜日のみ	有料 200 円
帰り 3 便	15:30	土曜日のみ	有料 200 円
帰り 4 便	16:50	月～土（祝日は運休）	有料 200 円
帰り 5 便	19:15	月～土（祝日は運休）	有料 200 円

※帰り 2 便と 3 便は、土曜日のみ運行します。

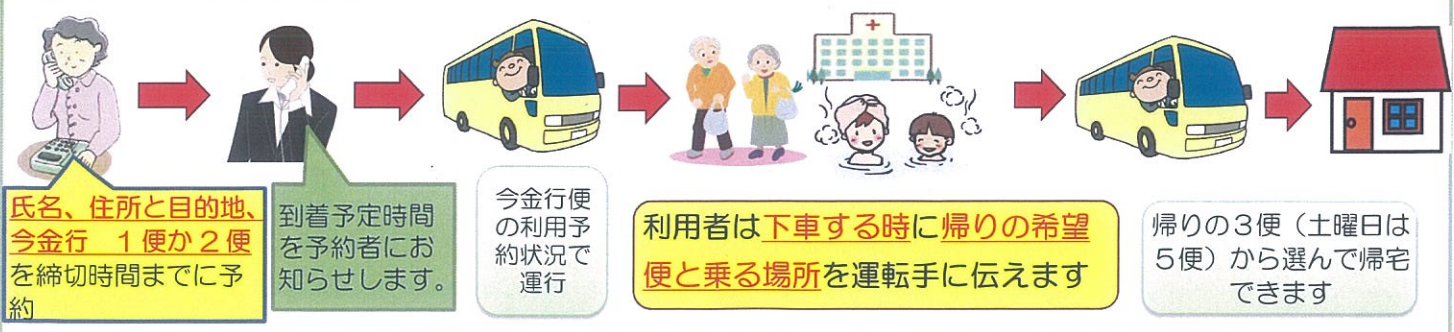
予約先 東ハイヤー 82-0166

町内最寄り施設  
国保病院・Aコープ・役場・としべつ・郵便局・銀行・美容室・歯医者・あったからんなど

予約があった最寄り施設に迎えに行きます。

予約者の自宅近く停留場所へ

### 予約制バス利用の流れ





事務連絡  
平成27年10月22日

地域公共交通確保維持改善事業  
実施協議会担当者様

国土交通省北海道運輸局  
自動車交通部旅客第二課

地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の実施について（依頼）

平素より北海道運輸局の交通行政の推進に関しましてご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
地域公共交通確保維持改善事業に基づく補助対象事業については、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱（平成23年3月30日 国総計第97号、国鉄財第368号、国鉄業第102号、国自旅第240号、国海内第149号、国空環第103号。以下「交付要綱」という。）第3条第5項及び地域公共交通確保維持改善事業実施要領（平成23年4月1日国総計第5号、国鉄財第4号、国鉄業第4号、国自旅第20号、国海内第8号、国空環第5号）に基づき、毎年度、各協議会において事業の実施状況の確認、評価を行っていただき、地方運輸局あて報告いただくとともに公表していただくこととされているところです。

今般、平成28年1月（1次評価）及び2月（2次評価）に行うこととされている事業評価につきまして、下記のとおり実施することとしましたので、事業評価に係る協議会等におかれましては、期日までに自己評価（一次評価）を行い、公表するとともに、当局まで関係資料を提出してください。

## 記

### 1 事業評価の目的

地域公共交通確保維持改善事業の事業評価は、協議会が、生活交通ネットワーク計画（交付要綱の規定に基づき、生活交通ネットワーク計画に代えることができる各種計画を含む。）に位置付けられた補助対象事業について、事業の実施状況の確認、目標達成状況等の評価を行うことによって、補助対象事業がより効果的、効率的に推進されることを目的とするものです。

### 2 事業評価の実施

#### (1) 自己評価（一次評価）

地域公共交通確保維持改善事業による支援を受けた事業については、毎年度、協議会自らによる事業の実施状況の確認及び評価（以下「自己評価」という。）を行い、自己評価の結果を、地域公共交通確保維持改善事業及び地域公共交通調査等事業にあつては、補助金の交付を受けようとする会計年度の1月末までに、地域公共交通バリア解消促進等事業にあつては、補助金の交付を受けた会計年度の翌年度の1月末までに、それぞれ協議会から、当局に報告するとともに公表することとなっております。協議会が行った事業評価

(自己評価)の結果については、速やかにホームページ等において公表してください。

※地域公共交通バリア解消促進等事業(バリアフリー化設備等整備事業)は二次評価の実施は不要となります。

## (2) 二次評価

当局は、提出された自己評価を基に二次評価を行い、協議会に対して、二次評価の結果を通知するとともに、必要に応じて、事業計画の見直し等を求めるものとします。

二次評価結果の通知を受けた協議会は、二次評価の結果を踏まえ、必要に応じてネットワーク計画、後続事業又は地域の取組等に反映させてください。

## (3) 二次評価の複数年度評価(隔年評価)

地域公共交通確保維持事業のうち、以下の事由に該当する系統、航路又は航空路(以下「系統等」という。)に係るもの以外のものにあつては、二次評価を28年度に一括して行うこととします(隔年での実施)。この場合において、複数の系統等を包括的かつ一体的に評価しているときは、当該評価の単位ごとに以下の事由への該当の有無を判断することとします。

### ① 実施を必須とする系統等

ア 26年度に二次評価を行っていないもの

イ 事業初年度のもの(地域公共交通調査等事業の結果を受けて生活交通ネットワーク計画を作成し、地域公共交通確保維持事業に移行したものを含む。)

ウ 一次評価の結果が芳しくないもの

エ 地域協働推進事業の実施に伴い、地域間幹線系統又は地域内フィーダー系統について補助対象要件の緩和等の特例措置を受けているもの(地域間幹線系統にあつては特例措置の対象期間中、地域内フィーダー系統にあつては、地域協働推進事業計画の計画期間内を対象とする。)

### ② 実施を任意選択とする系統等

ア 協議会において二次評価の実施を希望するもの

イ その他当局において二次評価の実施が必要であると認めるもの

## 3 事業評価実施に当たつての留意事項

国土交通省総合政策局作成の「事業評価を通じた地域公共交通確保維持改善事業の効果的実施に向けてーガイドンスー」に掲載されている事業評価の進め方に留意の上、作業内容については、別添「事業評価実施細目」により実施してください。

なお、当該ガイドンスは、国土交通省のHP(以下のサイト)に掲載されております。

掲載サイト <http://www.mlit.go.jp/common/001020610.pdf>

### (1) 各事業ごとの事業評価の進め方(ガイドンス掲載頁)

- ① 地域公共交通確保維持事業 . . . . . 40頁～43頁
- ② バリアフリー化設備等整備事業 . . . . . 49頁～51頁
- ③ 利用環境改善促進等事業 . . . . . 53頁～55頁
- ④ 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業 . . . . . 59頁～61頁
- ⑤ 地域公共交通調査事業 . . . . . 63頁～64頁



⑥ 地域協働推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・67頁～68頁

(2) 協議会の開催

自己評価の実施及び提出に当たっては、協議会の構成員の意思を反映することが必要となりますので、協議会を開催していただくことが望ましいですが、開催することが困難な場合においては、持ち回り等により構成員の意志を反映するようにしてください。

(3) 事業評価記載様式

協議会は、別紙1「地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通ネットワーク計画に基づく事業）」及び別紙1-2「事業実施と生活交通ネットワーク計画との関連について」又は別紙2「地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（計画策定に係る事業）」若しくは別紙3「地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域協働推進事業）」を使用し、別添「事業評価実施細目」及び「別紙1～3記載例」を参考に記載してください。その際、別紙4「地域公共交通確保維持改善事業の概要」を添付願います。

この他、必要に応じ参考資料（自己評価の内容を補足する資料、生活交通ネットワーク計画の素案を作成していれば当該計画素案、新聞記事等）を添付してください。

(4) 当局への提出資料等

① 提出資料

- ア 別紙1及び別紙1-2又は別紙2若しくは別紙3
- イ 別紙4
- ウ その他参考となる資料（必要に応じて）

※地域公共交通バリア解消促進等事業（バリアフリー化設備等整備事業）は別紙1のみの提出となります。

- ② 提出先 北海道運輸局自動車交通部旅客第二課
- ③ 提出期限 平成28年1月29日（金）〆切
- ④ 提出形式

別紙1、2及び3並びに別紙1-2については Excel ファイル、別紙4についてはパワーポイントとします（PDF ファイルは不可）。また、文字の大きさは原則として10ポイント以上とします。

⑤ 公表の様式

自己評価の結果を公表する際には、北海道運輸局に提出した資料と同一のものを公表してください。

【問い合わせ先】 国土交通省北海道運輸局自動車交通部旅客第二課 補佐 笹治 忍 連絡先：011-290-2742
---

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成 年 月 日

協議会名: 今金町地域公共交通確保維持改善協議会

評価対象事業名: 地域内ライダーシステム確保維持費用国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(有)東ハイヤー	八東白石地区線 ↑ 「系統名」・「運行区間」等を記載する。 車両減価償却費用国庫補助を受けている協議会については、【車両減価償却費用国庫補助】と記載する。	A 計画通り事業は適切に実施された。 ↑	A 計画通り事業は適切に実施された。 ↑	A 年間延べ1,980人の利用目標に対し2,906人の利用があった。 ↑	引き続き地区住民のニーズを適切に把握しながら、ダイヤ設定の見直しなどを検討する。



事業実施と生活交通ネットワーク計画との関連について

平成 年 月 日

協議会名:	今金町地域公共交通確保維持改善協議会
評価対象事業名:	地域内フィードバックシステム確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>今金町は北海道渡島半島の北部に位置し、南はユラップ山系を挟んで八雲町と、北は狩場山系を介して島牧村、東は低い山地を経て長万部町と、西はせせな町と接しており、四方が概ね山岳丘陵に囲まれた内陸地です。面積は568.14km<sup>2</sup>、人口5,637人(平成27年10月末現在住民基本台帳)ですが、人口の約5分の1が75歳以上の高齢者であり、今後その割合はさらに増えることが予想されています。現在の自家用車中心の地域交通のままでは、今後、日常生活において不便になる世帯が増加することが懸念されます。</p> <p>このため、町内の交通不便地域の解消を図ることを目的とし、地域間幹線系統に接続する地域内フィードバックシステムを構築を進めているところです。</p>

前段で市町村の概況について簡記するとともに、生活交通ネットワーク計画にある事業実施の目的・必要性を記載する。



# 今金町地域公共交通確保維持改善協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 事業実施の目的・必要性

今金町は人口の約5分の1が75歳以上の高齢者であり、今後その割合は更に増えることが予想されるため、現在の自家用車中心の地域交通のままでは、今後、日常生活において不便になる世帯が増加することが懸念されます。

このため、町内の交通不便地域の解消を図ることを目的とし、地域間幹線系統に接続する地域内フィーダー系統のデマンドバスを導入し、地域の生活交通ネットワークの構築を進めます。

## 生活交通確保維持改善計画の目標

平成25年度に実施した実証調査利用数を参考とした平均値に対し、その1割増を目標値とする。

- ・平成25年度実証調査結果：月平均150人→年換算人数 1,800人
- ・目標人数(年間) 1,980人

## 平成27年度事業概要

### 【八東・白石地区線】

- ・運行形態：デマンド型フィーダー路線
  - ・運行事業者：有限会社東ハイヤー
  - ・運行日：平日と土曜日(日曜・祝日は運休日)
  - ・運行回数：今金行き便 午前2便  
地区帰り便 午後3便(H27.4から学休日は午後5便)
  - ・運賃：1回200円
- (※スクールバスの一般混乗も合わせて実施)

## 地域公共交通の現況

- ・函館バス(株)(町内1路線)  
～JR廃止に伴う代替幹線バス路線
- ・スクールバス(5路線)
- ・患者輸送バス(6路線)

## 協議会開催状況

平成26年5月1日 平成26年度第1回協議会を開催  
・地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請について 等

平成26年7月29日 平成26年度第2回協議会を開催  
・地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請について  
・デマンドバスの愛称について 等

平成26年12月3日 平成26年度第3回協議会を開催  
・今金町デマンドバス運行協定について  
・八東・白石地区デマンド運行の10月実績について 等

平成27年3月17日 平成26年度第4回協議会を開催  
・地域内フィーダー系統確保維持計画の変更申請について  
・八東・白石地区デマンド運行の実績について 等

平成27年6月4日 平成27年度第1回協議会を開催  
・地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請について 等

平成27年7月10日 平成27年度第2回協議会を開催  
・地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請について 等

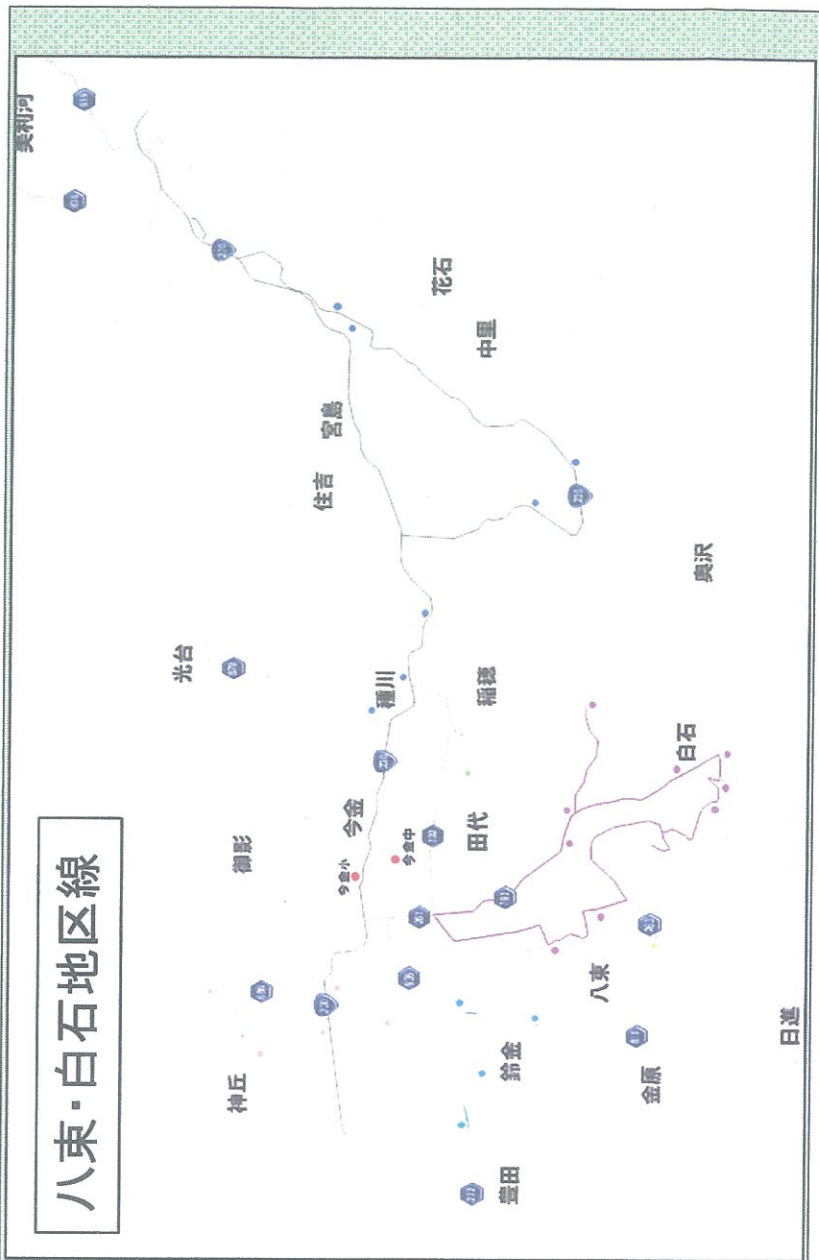
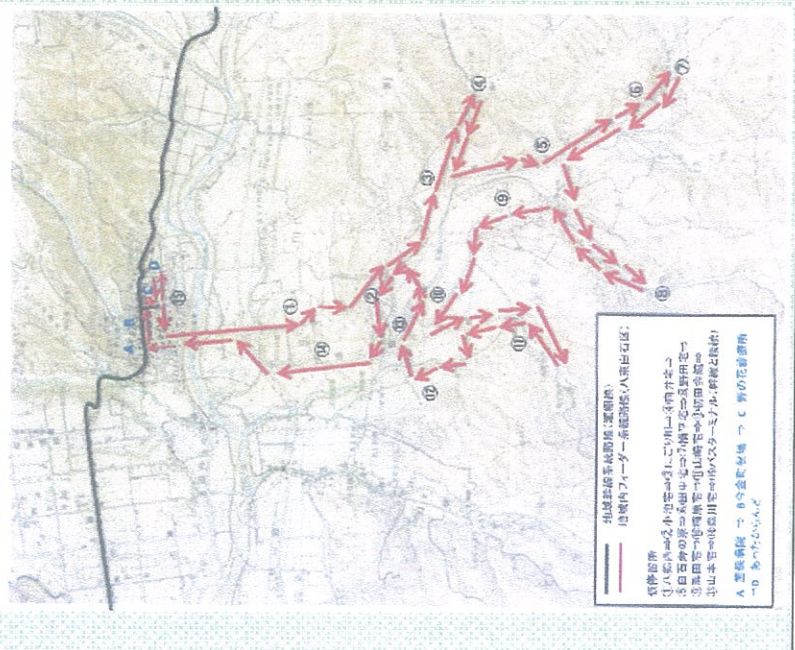


## 平成27年度事業の実施状況

### 1) プロセス、創意工夫

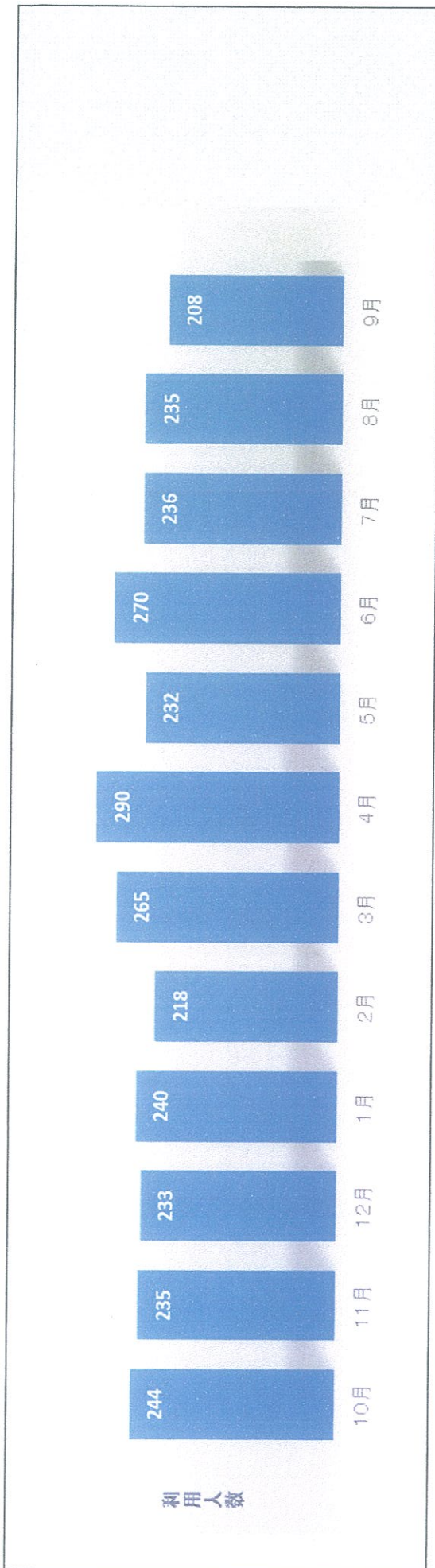
- ・ファイダー路線のエリア選択は、前々年度実施の今金町地域交通サービス導入調査及び地理的事情を勘案し決定。
- ・前年に実証調査運行を行い、最終的なダイヤを決定。
- ・町民全体に実証調査運行を持っていただけよう愛称を募集(『予約バス「ルンるん号」』に決定)。
- ・地域住民説明会の開催、町広報誌による周知、運行地区全世帯への時刻表配付、患者バスに同乗し制度切り替えの説明等により住民周知を図った。

### 2) 運行系統





### 3) 利用実績



### 4) 収入実績





### 5) 事業実施の適切性

A 計画通り事業は適切に実施された。

### 7) 事業の今後の改善点

引き続き地区住民のニーズを適切に把握しながら、ダイヤ設定の見直しなどを検討する。

### 6) 目標・効果達成状況

A 年間延べ1,980人の利用目標に対し2,906人の利用があった。

### 8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄



今金町地域交通確保維持改善協議会  
会長 外崎 秀人

### 1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

・今金町の人口は6,186人(22年国勢調査)で内75歳以上の高齢者は、既に住民の5人に1人にあたる1,200人規模(2010年)に達し、今後さらに増えていくことが予想されます。これまでの自家用車中心の地域交通のままでは、今後、日常生活において不便になる世帯が増加しかねません。

このため、町は、これまでの函館バスによる長万部・せたな間の幹線運行、スクールバス、患者輸送(福祉)バスという公共交通について見直し、新しい地域交通の検討を平成24年度より始めました。さらに平成25年度においては八束・白石地区実証運行調査に着手しました。

・平成25年度に実施した地域交通確保調査事業に基づき、現況調査及び住民ニーズ調査などの結果を踏まえた上で、現行の公共交通サービスである、路線バス・患者輸送バス・スクールバスの運行を見直し、新たな公共交通システムをとって地域内フィーダー系統確保維持計画を作成し、町内交通不便地域の解消を図ります。特に町南部の八束・白石地区等でのスクールバス一般混乗の導入及び地域間幹線に接続するデマンドバスの導入を目指します。今回策定する計画では、持続的な公共交通として地域に定着させることを目的とします。

### 2. 地域公共交通確保維持事業に係る定量的な目標・効果

#### (1) 事業目標

平成25年度に実施した実証調査利用数を参考に平均値に対し、その1割増を目標値とする。

平成25年度八束白石地区実証調査結果	月平均約150人(9月:126人、2月171人)
年度換算人数	1,800人
目標人数(年間)	1,980人

#### (2) 事業の効果

- ①幹線バス(長万部～瀬棚線)のアクセスができ、利用促進が図られる。
- ②八束・白石地区等と市街地間における移動手段が充実する。
- ③八束・白石地区等における移動手段が充実する
- ④各地区と病院や商業施設等が結ばれることで日常生活に必要な社会基盤が維持される。
- ⑤地区内外問わず高齢者の社会参加が促進される。
- ⑥行政サービスの向上が図られる。
- ⑦高齢者の交通事故の減少が図られる。



**3. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者**

・地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表1」を添付

**4. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額**

・地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表2」のとおり。

**5. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称**

・有限会社 東ハイヤー

**6. 補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定手法**

・該当なし。

**7. 別表4及び別表4-1の補助事業の基準二に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要**

・該当なし。

**8. 別表4及び別表4-1の補助事業の基準八に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧**

・該当なし。

**9. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要**

・地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱「表5」のとおり。

**10. 車両の取得に係る目的・必要性**

・該当なし。

**11. 車両の取得に係る定量的な目標・効果**

・該当なし。

**12. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者、要する費用の総額、負担者及びその負担額**

・該当なし。



13. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策）

- ・該当なし。

14. 協議会の開催状況と主な議論

- ・平成 25 年 4 月 26 日 第 1 回今金町地域公共交通確保維持改善協議会総会  
協議会発足、会則制定、年間計画の承認、公共交通調査事業の概要
- ・平成 25 年 7 月 29 日 第 2 回今金町地域公共交通確保維持改善協議会  
公共交通調査事業の概要説明、実証調査の詳細選定（路線、料金、運行事業者等）
- ・平成 25 年 11 月 25 日 第 3 回今金町地域公共交通確保維持改善協議会  
実証調査の報告及びアンケート報告、冬期実証調査の詳細説明、ネットワーク計画の概要
- ・平成 26 年 3 月 18 日 第 4 回今金町地域公共交通確保維持改善協議会  
生活交通ネットワーク計画（本計画）の承認、調査事業評価の承認、次年度計画・予算等
- ・平成 26 年 5 月 1 日 平成 26 年度第 1 回今金町地域公共交通確保維持改善協議会  
本計画の認定申請、実証調査地区選定、幹線系統利用促進対策等
- ・平成 26 年 7 月 29 日 平成 26 年度第 2 回今金町地域公共交通確保維持改善協議会  
本計画の認定申請、実証調査の実施、UD 車両の導入等
- ・平成 26 年 12 月 3 日 平成 26 年度第 3 回今金町地域公共交通確保維持改善協議会  
デマンドバス運行状況、実証調査の実施概要及び冬期調査の実施等
- ・平成 27 年 2 月 20 日～27 日 今金町地域公共交通確保維持改善協議会書面協議  
本計画の変更申請

15. 利用者等の意見の反映状況

・平成 24 年度町独自で実施した今金町地域交通サービス導入調査において、各地区（13 地区）住民聞き取り調査、各地区代表及び民生委員等 30 名でのワークショップの開催を行い、地域住民の交通課題及びニーズの把握を行い、それをベースとした報告書を作成した。その報告書をもとに平成 25 年度においては、八束・白石地区を実証調査エリアとして 9 月・2 月に実施。実施後のアンケートや聞き取りを行い、課題把握を行った。これらのデータをもとに協議会で検討を経て具体的な計画をまとめた。

- |                   |                                    |
|-------------------|------------------------------------|
| 平成 24 年 5 月～6 月   | 13 地区の老人クラブ等会合に出向き調査説明 聞き取り調査      |
| 平成 24 年 6 月 28 日  | 10 地区民生委員、青年団体、女性団体等 30 名交通ワークショップ |
| 平成 24 年 8 月 3 日   | アンケート実施に係る事前協力文書の配布町内回覧            |
| 平成 24 年 8 月 20 日  | 地域交通全町民アンケート 約 2600 世帯（回収率 24%）    |
| 平成 25 年 5 月～6 月   | 13 地区の老人クラブ等会合 実証調査の概要、聞き取り調査      |
| 平成 25 年 8 月 5 日   | 八束地区 9 月実証調査事前説明会、課題聞き取り           |
| 平成 25 年 8 月 20 日  | 白石地区 9 月実証調査事前説明会、課題聞き取り           |
| 平成 25 年 10 月 11 日 | 八束地区 9 月実証調査後の聞き取り調査及びアンケート調査      |
| 平成 25 年 10 月 15 日 | 白石地区 9 月実証調査後の聞き取り調査及びアンケート調査      |
| 平成 25 年 1 月 10 月  | 白石地区 2 月実証調査事前説明会、課題聞き取り           |
| 平成 25 年 1 月 21 日  | 八束地区 2 月実証調査事前説明会、課題聞き取り           |
| 平成 26 年 3 月 10 日  | 白石地区 2 月実証調査後の聞き取り調査及びアンケート調査      |
| 平成 26 年 3 月 24 日  | 白石地区 2 月実証調査後の聞き取り調査及びアンケート調査      |



**16. 今金町地域公共交通確保維持改善協議会の構成員**

- (1) 関係都道府県 ・ 北海道檜山振興局地域政策部地域政策課長
- (2) 関係市町村 ・ 今金町長
- (3) 関係交通事業者 ・ 函館バス(株) 営業部長  
・ 有限会社東ハイヤー代表取締役
- (4) 地方運輸局 ・ 北海道運輸局函館支局首席運輸企画専門官(輸送・監査担当)  
・ 北海道運輸局函館支局首席運輸企画専門官(企画調整担当)
- (5) その他協議会が必要とする者
  - ・ 今金町自治会町内会連合会長
  - ・ 今金町老人クラブ連合会長
  - ・ 今金町民生委員児童委員協議会副会長
  - ・ 今金町女性団体連絡協議会長
  - ・ 八束連合自治会副会長
  - ・ 今金町社会福祉協議会事務局長

17. 地域協働推進事業計画の認定を受け、地域間幹線系統確保維持事業の特例措置を受ける場合は、対象とする系統について、利用促進に向けた継続的かつ計画的な取組みの内容並びに当該取組の実施主体及び推進体制なたびに当該系統の輸送量の増加目標

・ 該当なし。

**【本計画に関する担当者・連絡先】**

(住所) 北海道瀬棚郡今金町字今金48-1  
(所属) 今金町まちづくり推進課企画政策グループ  
(氏名) 廣嶋 絵理子  
(電話) 0137-82-0111(135)  
(E-mail) imk-kikakushinko@town.imakane.lg.jp

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成 年 月 日

協議会名: 今金町地域公共交通確保維持改善協議会

評価対象事業名: 地域公共交通バリア解消促進等事業(バリアフリー化設備等整備事業)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
(有)東ハイヤー	ユニバーサルデザイン車両1台		A 計画通り事業は適切に実施された。	A 年次計画により1年1台ずつ、3年間にわたり小型タクシーをUD車両に代替し、利用者の利便性の向上を図ることを目標としており、年次計画どおり導入され、車椅子利用者なども利用できるようになった。	引き続き、年次計画に沿って車両の代替をすすめることが望まれる。



# 生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）

平成26年6月18日

今金町地域交通確保維持改善協議会  
会長 外崎 秀人

## 1. 生活交通改善事業計画の名称

福祉タクシー車両導入事業計画

## 2. バリアフリー化設備等整備事業の目的・必要性

高齢化社会の進展や障害者の社会参加への推進が求められている昨今、ドア・ツー・ドアの運送を行うことのできるタクシー事業の必要性や存在意義が増していく中でより一層の体制の整備が課題とされている。

また、今後、運行を予定している町内のフィーダー系統のデマンドバスにおいても、主に高齢者等の利用が見込まれ、利用者にとって利用しやすい車両の整備が必要である。

それらの課題解決に向けて地域内に福祉タクシー車両を配備し一般乗用旅客運送事業の充実を図るものとする。

## 3. バリアフリー化設備等整備事業の定量的な目標及び効果

### (1) 事業の目標

現在町内にはタクシー事業者1社で小型タクシー5台が運行されているが、昨今高齢化の進展による身体障害、とりわけ車椅子利用者が増加していることから、年次計画により、1年で1台ずつ、3年間にわたり、小型タクシーをユニバーサルデザインタクシー車両に代替することで、利用者のより一層の利便を図るものとする。

### (2) 事業の効果

ユニバーサルデザインタクシー車両を導入することで高齢者を始め、車椅子利用者など障害者や介助者など誰もが安心して利用しやすい公共交通の実現が図られる。

## 4. バリアフリー化設備等整備事業の内容と当該事業を実施する事業者

### (1) 事業の内容：実施事業者（補助対象事業者）

ユニバーサルデザインタクシー車両の導入 1台： 有限会社 東ハイヤー

(実施事業者(補助対象事業者)の身体・知的・精神の3区分における運賃割引率について)

身体・知的 各1割引 精神 設定なし

5. バリアフリー化設備等整備事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額					
平成26年度（当該年度）					
事業の名称	総事業費 割合	国費 割合	都道府県負担 割合	市区町村負担 割合	事業者負担 割合
福祉タクシー 車両導入事業	2,438千円 100%	600千円 24.6%	千円 %	300千円 12.3%	1,538千円 63.0%
合計	2,438千円 100%	600千円 24.6%	千円 %	300千円 12.3%	1,538千円 63.0%
※総事業費については見込み額を記載 ※列記の者以外に費用負担者がいる場合は、適宜修正の上、全体構成が分かるように記載。					
平成27年度（翌年度）					
事業の名称	総事業費 割合	国費 割合	都道府県負担 割合	市区町村負担 割合	事業者負担 割合
福祉タクシー 車両導入事業	2,438千円 100%	600千円 24.6%	千円 %	300千円 12.3%	1,538千円 63.0%
合計	2,438千円 100%	600千円 24.6%	千円 %	300千円 12.3%	1,538千円 63.0%
※総事業費については見込み額を記載 ※列記の者以外に費用負担者がいる場合は、適宜修正の上、全体構成が分かるように記載。					
平成28年度（翌々年度）					
事業の名称	総事業費 割合	国費 割合	都道府県負担 割合	市区町村負担 割合	事業者負担 割合
福祉タクシー 車両導入事業	2,438千円 100%	600千円 24.6%	千円 %	300千円 12.3%	1,538千円 63.0%
合計	2,438千円 100%	600千円 24.6%	千円 %	300千円 12.3%	1,538千円 63.0%
※総事業費については見込み額を記載 ※列記の者以外に費用負担者がいる場合は、適宜修正の上、全体構成が分かるように記載。					

6. 計画期間												
事業の名称	平成26年度				平成27年度				平成28年度			
	4月	9月	11月	3月	4月	9月	11月	3月	4月	9月	11月	3月
福祉タクシー車両 導入事業	8月1日着手 1台				8月1日着手 1台				8月1日着手 1台			
	●				●				●			
	9月30日完了				9月30日完了				9月30日完了			



## 7. 協議会の開催状況と主な議論

### ・平成 26 年 3 月 18 日 第 4 回今金町地域公共交通確保維持改善協議会

今金町では、75 歳以上の高齢者が既に住民の 5 人に 1 人にあたる 1,200 人規模に達しており、今後更に増えていくことが予想され、日常生活において不便となる世帯の増加が懸念されているところ。そういった現状を踏まえ、生活交通ネットワーク計画に基づき、町内においてフィーダー路線のデマンド運行の開始を予定しており、デマンド運行は、町内唯一のタクシー事業者である東ハイヤーが事業主体となることから、デマンドバスの運行でも使用でき、高齢者や障がい者等の利便性向上のため、福祉タクシー車両を導入することが提案され、承認された。

## 8. 利用者等の意見の反映

・町民、利用者の代表である各町民団体や自治会の代表者が委員として協議会に出席、UD タクシーの必要性並びに導入について協議を実施。

## 9. 協議会メンバーの構成員

関係都道府県	・北海道檜山振興局地域政策部地域政策課長
関係市区町村	・今金町長
交通事業者・交通施設管理者等	・函館バス（株）営業部長 ・有限会社東ハイヤー代表取締役
地方運輸局	・北海道運輸局函館支局首席運輸企画専門官（輸送・監査担当） ・北海道運輸局函館支局首席運輸企画専門官（企画調査担当）
その他協議会が必要と認める者	・今金町自治会町内会連合会長 ・今金町老人クラブ連合会長 ・今金町民生委員児童委員協議会副会長 ・今金町女性団体連絡協議会長 ・八束連合自治会副会長 ・今金町社会福祉協議会事務局長

### 【本計画に関する担当者・連絡先】

(住所) 北海道瀬棚郡今金町字今金 48-1

(所属) 今金町まちづくり推進課企画政策グループ

(氏名) 廣嶋 絵理子

(電話) 0137-82-0111 (135)

(E-mail) imk-kikakushinko@town.imakane.lg.jp

## 今後のスケジュール（案）について

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今金町高齢者交通料金助成事業対象者への案内通知等開始</li> </ul>
5月 ～ 6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>第1回今金町地域公共交通確保維持改善協議会 開催</b></li> <li>・ フィーダー系統確保維持計画、生活交通改善事業計画申請（協議会から国へ申請）</li> <li>・ 庁舎内ワーキング開催（年間を通し適宜）</li> <li>・ 実証調査の事務手続き等（6月定例会へ補正）</li> </ul>
7月 ～ 8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>第2回今金町地域公共交通確保維持改善協議会 開催</b></li> <li>・ 新地区における実証調査詳細事項の設定（料金・経路・運用方法）</li> <li>・ 新地区における実証調査地域住民説明会、広報誌掲載による町民周知</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 田代・稲穂地区実証調査実施 9月1日(火)～9月30日(水)</li> <li>・ 金原・豊田地区、日進地区本運行開始に伴う説明会、広報等による町民周知</li> </ul>
10月 ～ 11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金原・豊田地区、日進地区本運行スタート</li> <li>・ 八束・白石地区国庫補助申請及び事業評価</li> </ul>
12月 ～ 1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>第3回今金町地域公共交通確保維持改善協議会 開催</b></li> <li>・ 新地区の冬道実証調査における詳細事項の設定（料金・経路・運用方法）</li> <li>・ 広報等による町民周知</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 田代・稲穂地区実証調査実施 2月1日(月)～2月29日(月)</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>第4回今金町地域公共交通確保維持改善協議会 開催</b></li> <li>・ 次年度申請に向けた具体的な地域交通の運用計画</li> </ul>